

高校生による環境保全活動のコンテスト「イオンエコワングランプリ」の普及・啓発部門で、大曲農業高校(大仙市)による仙北市・玉川温泉の湯の花を使ったカラスよけギット開発の取り組みが、内閣総理大臣賞を受賞した。

秋田魁新報 2021年12月29日付 地W左

/ION eco-1グランプリ



イオン系  
公益財団

## 環境保全コンテスト



秋田県立大曲農業高等学校 果樹部  
活動タイトル：硫黄由来資源を活用した  
廃除けプロジェクト

オンライン上でプレゼンテーションを行ったエコワングランプリの審査会

エコワングランプリは  
イオングループの主要企  
業などからなる公益財団  
法人が、2012年から  
行っている。誰でも取り  
組める普及性の高い「普  
及・啓発部門」と、地域  
の問題に着目した専門性  
の高い「研究・専門部門」  
の2部門で、全国の高校  
から取り組み事例を募集  
している。

今年は普及・啓発部門  
に61件、研究・専門部門  
に41件の応募があった。  
今月4日、「書類選考など  
を通した各部門の上位5  
校がオンラインの審査会  
でプレゼンテーションを行  
った。受賞者が決まった。

大曲農高の取り組みは  
本年度、2年生4人が学  
校の課題研究の一環とし  
て行ったもの。同校の栗  
樹園ではガラスによる食  
物の保存に苦労していた。  
そこで、牛乳パックを  
リサイクルして湯の花成  
分を含む再生紙を作製  
し、リンゴの葉っぱの形  
に似せたギットを作製し  
て話した。

## 「湯の花」でカラスよけ開発

# 大曲農高が総理大臣賞

賞状を持つ山野さん（左）と丘野さん



©秋田魁新報社

書類選考など  
を通した各部門の上位5  
校がオンラインの審査会  
でプレゼンテーションを行  
った。受賞者が決まった。  
大曲農高の取り組みは  
本年度、2年生4人が学  
校の課題研究の一環とし  
て行ったもの。同校の栗  
樹園ではガラスによる食  
物の保存に苦労していた。  
そこで、牛乳パックを  
リサイクルして湯の花成  
分を含む再生紙を作製  
し、リンゴの葉っぱの形  
に似せたギットを作製し  
て話した。

（藤田祥子）

の農家や住民も同じ悩み  
を抱えているのではないか  
かと研究を始めた。  
地域の一部農家がカラ  
スよけに硫黄石を使って  
いることを知り、より低  
コストな代替品として玉  
川温泉の湯の花に着目。  
寒武実験で効果が認めら  
れたため、牛乳パックを  
リサイクルして湯の花成  
分を含む再生紙を作製  
し、リンゴの葉っぱの形  
に似せたギットを作製し  
て話した。

た。今後ギットの成分な  
どを再度検討した上で、  
一般に広く普及できるよ  
う、さらに研究を進めた  
い考えだ。

20日、県第2庁舎で代  
表の生徒2人が安田浩幸  
県教育長に受賞を報告。玉  
川温泉の湯の花に着目。  
寒武実験で効果が認めら  
れたため、牛乳パックを  
リサイクルして湯の花成  
分を含む再生紙を作製  
し、リンゴの葉っぱの形  
に似せたギットを作製し  
て話した。

山野大樹さんは「名譽あ  
る賞をいただいたうれし  
い」、片野真菜さんは地  
域の課題の解消に向け、  
研究を続けていきたい